

ロン・メッドフォード氏

グーグル ディレクター(安全性・自動運転自動車担当)



ロン・メッドフォードは、2013年1月、自動運転自動車プログラムの安全担当ディレクターとして、グーグルに加わった。同プログラムにおいて、自動運転自動車の安全性を確保するため、他の開発チームと協働している安全チームを率いている。

グーグルに加わる前は、2010年1月から2012年12月まで、米国運輸省高速道路交通安全局(NHTSA)副局長を務めた。ロンは、2003年5月に、車両安全担当シニア・アソシエイト管理官としてNHTSAでのキャリアをスタートさせた。ロンは、米国の自動安全プログラム全体の監督責任者であった。

NHTSAに入る前は、消費者製品安全委員会(CSPC)において、ハザード確認及び削減担当の副執行役員を務め、同委員会における規制・技術業務の責任者であった。また、政府が支給する10か月間の研究休暇を用いて、IBOT車椅子及びセグウェイ・ヒューマン・トランスポーターの発明で知られる、発明家でDeka Research and Development Corporation社社長のディーン・カーメンと協働した経験も有する。

メリーランド大学学士(B.S.)及び修士(M.S.)。カリフォルニア州サンタクララ在住。